

- 「アンケート」
 - ⇒ 4段階評価モデルの【レベル1】に該当
 - ⇒ 受講者・講師・コーディネータの「主観的評価」と「ニーズ」が混在。
- 「テスト」
 - ⇒ 4段階評価モデルの【レベル2】に該当
 - ⇒ 受講者が能力（知識）を身につけたかどうかを客観的に「評価」することが可能。
- 「アンケートの評価」が良くても「テストの結果」が悪くても、研修の目標が達成されたことにはならない。
- 以上のことから、テストとアンケートによる評価・改善は、次の考え方を基本とする。

- テストの点数が低い単元・コースがあった場合は、その原因や問題を明らかにするためにアンケート結果を参照し、研修を改善する。
- その他、アンケート結果から評価やニーズ内容を把握し、必要に応じて研修を改善する。